

当院では **AI技術** を用いて開発した 胸部X線画像病変検出ソフトウェアを 導入しています。



胸部X線画像病変検出
ソフトウェアは
医師の診断を支援する
機能を備えております。

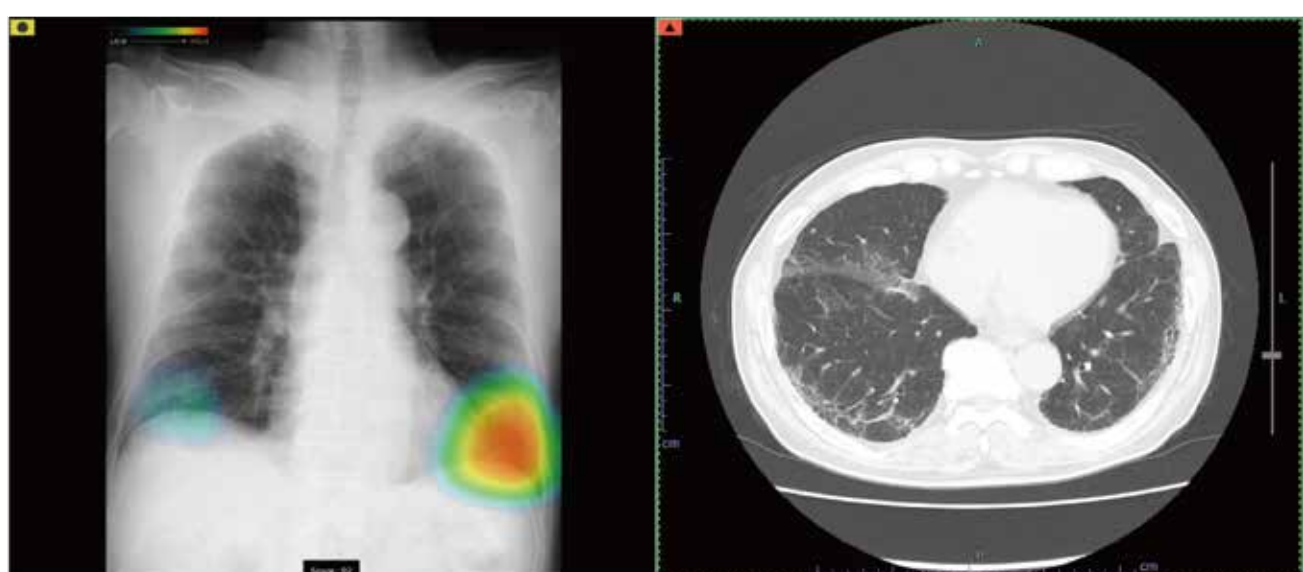
3つの画像所見に対応

ソフトウェアにより、胸部X線画像を自動解析し、結節・腫瘤影、浸潤影、気胸が疑われる領域を検出しマーキングします。その領域を医師が再確認することで、見落とし防止が期待できます。



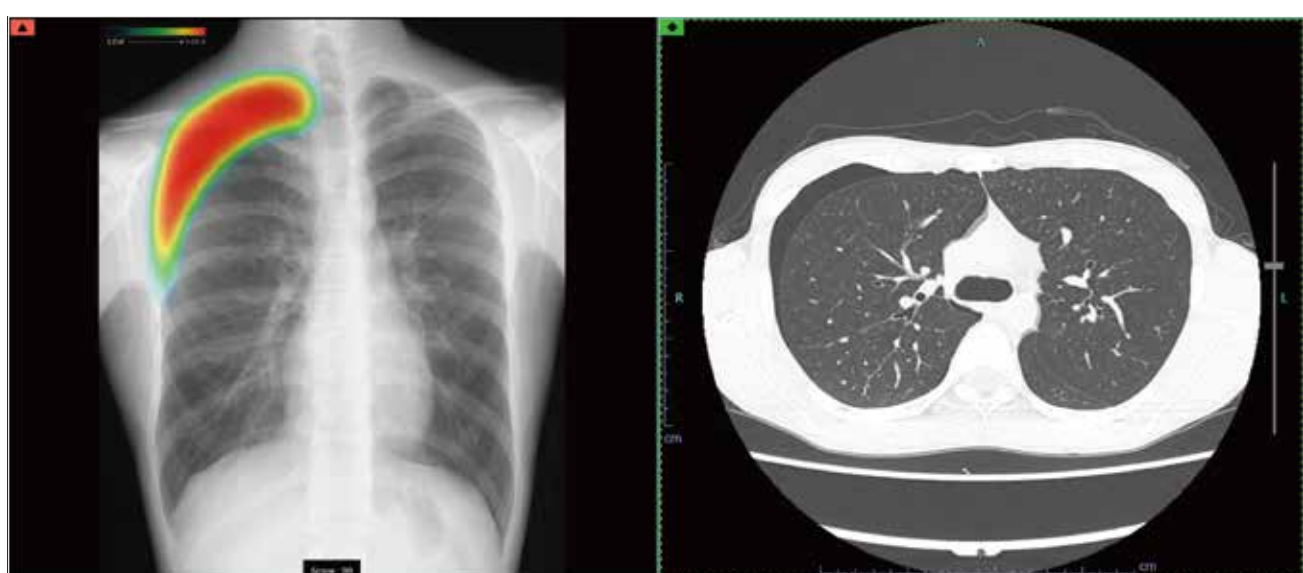
結節・腫瘤影

X線画像に写る類円形の
陰影で、肺がんが疑われる所見です。



浸潤影

境界の不明確な陰影で、主に肺炎や結核などの
感染症に見られる画像所見です。



気胸

肺に穴が開くことで肺がしぼんでいく病気で、
胸部X線画像では、肺と胸腔の間に
空気領域が認められます。

CT画像は解析対象ではありません。

肺がんや肺炎、気胸は、発見が遅れると重篤化する
可能性があることから、早期発見が重要です。